

## 令和7年度 林分条件調査表

森林管理署 岩手南部森林管理署遠野支署

物件番号 1

物件名 森林環境保全整備事業(小友第三地区)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齡	事業区分	伐採方法	面積 ha	平均 胸高 直径 cm	伐 採 率 %	立木資材量			生産量			予定作業量		最寄り市町村から の距離 km		備考												
									本数 m <sup>3</sup>	材積 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> /本 m <sup>3</sup>	N m <sup>3</sup>	L m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>	方法	数量 m <sup>3</sup>	方式	数量 m <sup>3</sup>	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m <sup>3</sup>	グラブル付きトラック 片道運搬距離 m	数量 m <sup>3</sup>	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	綠化 m <sup>2</sup>	砂利 数量 t	薬剤 散布 (スミハ ムハ) t	鉄板 規格*枚数		
231い	水滴保	カラマツ	70	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	19.71	33	18	7,176	2,713	0.38	1,468	332	1,800	全木	2,713	プロセッサ	1,800	741	1,800	2,000	1,800	緩					3m×60枚 300日	遠野市役所	14.2	
231ろ1	水滴保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.56	25	24	1,437	670	0.47	365	35	400	全木	670	プロセッサ	400	197	400				緩						12.7	
231ろ2	水滴保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	6.08	25	24	1,934	893	0.46	502	48	550	全木	893	プロセッサ	550	207	550				緩						12.7	
231ろ3	水滴保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	6.62	25	24	2,088	973	0.47	548	52	600	全木	973	プロセッサ	600	300	600				緩						12.7	
231は	水滴保	スギ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.47	25	24	652	283	0.43	150		150	全木	283	プロセッサ	150	107	150				中						12.7	
231に	水滴保	スギ	56	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.11	25	24	986	457	0.46	228	22	250	全木	457	プロセッサ	250	236	250				中						12.7	
231ほ1	水滴保	スギ	62	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	7.29	25	28	1,436	943	0.66	512	28	540	全木	943	プロセッサ	540	1,120	540				緩						14.2	
231ほ2	水滴保	スギ	60	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.88	25	24	747	330	0.44	180		180	全木	330	プロセッサ	180	184	180				緩						12.7	
232い1	水滴保	カラマツ	71	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	9.55	33	18	3,467	1,298	0.37	687	163	850	全木	1,298	プロセッサ	850	346	850	2,000	850	中						14.2		
232い2	水滴保	スギ	57	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.92	33	18	2,182	688	0.32	401	49	450	全木	688	プロセッサ	450	697	450				中						14.2	
235ろ1	水滴保	アカマツ	58	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.51	25	18	437	120	0.28	37	8	45	全木	120	プロセッサ	45	65	45				中						12.7	
235ろ2	水滴保	アカマツ	57	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.22	25	18	356	97	0.27	37	8	45	全木	97	プロセッサ	45	120	45				緩						12.7	
235ろ4	水滴保	アカマツ	57	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.85	25	18	244	68	0.28	25	5	30	全木	68	プロセッサ	30	56	30				緩						12.7	
235は	水滴保	ヒノキ	90	保育間伐(活用型)	定性間伐	2.37	32	20	707	300	0.42	171	9	180	全木	300	プロセッサ	180	138	180				緩						12.7	
235に	水滴保	カラマツ	77	保護伐	皆伐	0.62	100	32	327	274	0.84	147	33	180	全木	274	プロセッサ	180	44	180				緩						12.7	
235ち	水滴保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.67	25	20	399	109	0.27	49	1	50	全木	109	プロセッサ	50	69	50				急						12.7	
																												62			バックホウ(0.45m <sup>3</sup> )
																												240			碎石(C-80)
																												240			碎石(岩ズリ)
																												3,960 (270)			希駆後の薬剤散布数量 (原液数量。150倍希駆)
合計						73.43			24,575	10,215	0.42	5,507	793	6,300		10,215		6,300		6,300		2,650		10,848	0	0	62	480	3m×60枚 300日		

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。

2 面積は伐採面積とする。

3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。

緩: 0° ~ 20° 、中: 20° ~ 30° 、急: 30° 以上

4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。

5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。

6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

## ◎ 植付条件因子表